

第7回 公共交通分野におけるオープンデータ推進に関する検討会

平成30年度実証実験について

国土交通省 総合政策局
情報政策課
平成30年6月

平成30年度 実証実験について (概要)

<目的>

- 公共交通機関における運行情報等のオープンデータ化は、利用者への情報提供の充実につながり、一層の利用者利便の向上に貢献。
- 特に、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会における円滑な輸送に寄与する観点からも、公共交通機関におけるオープンデータ化による情報提供の充実を図ることが重要。
- このため、**運行情報等のオープンデータを活用したスマートフォンアプリによる情報提供の実証実験を官民連携して実施**する。

<主な内容>

1) 駅構内図のシームレスな整備

乗換駅等（東京オリ・パラ大会主要駅等）の構内図について、原則、「階層別屋内地理空間情報データ仕様書（案）」（国土地理院）に準拠し、オープンデータとしてシームレスな地図を整備。

2) 施設情報の整備

移動制約者を含む利用者の利便性の向上に資する施設情報（例：エレベータ、エスカレータ、トイレ等の位置や詳細情報）について、オープンデータとして整備。

3) 一般公募によるサービス実証

公共交通事業者が保有する運行情報等のオープンデータを一元的に集約・整備した上で、他の情報と連携させたアプリコンテストの実証実験を官民連携して実施。

4) 効果等の検証

一般公募によるサービス実証の実施を踏まえ、オープンデータのメリットや費用対効果、データ管理の在り方等について、検証を実施。

○スケジュール

6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
依頼・提供・整備等			実証実験(データ提供期間)・随時データ整備・公開							表彰式
			コンテスト応募期間				効果の検証		★	
										● 検討会

1) 駅構内図のシームレスな整備について

東京オリ・パラ大会を見据え、首都圏の主要な乗換え駅等の構内図について、原則、「階層別屋内地理空間情報データ仕様書（案）」（国土地理院）に準拠し、オープンデータとしてシームレスな地図を整備。

<構内図を整備する駅（予定）>

- 東京駅周辺（東京駅、大手町駅、有楽町駅、日比谷駅、銀座駅 等）
- 新宿駅

<地図の整備>

- G空間情報センターと連携し、「高精度測位社会プロジェクト」（国土情報課）で作成した屋内電子地図と結合したシームレスな乗換え駅等の地図をオープンデータとして提供。

～期待される効果～

国内外の旅行者や移動制約者を含め、公共交通利用者の円滑な移動を支援するアプリ開発が期待。

<イメージ>



移動制約者を含む利用者の利便性の向上に資する施設情報（例：エレベータ、エスカレータ、トイレ等の位置や詳細等）について、オープンデータとして整備。

<推奨施設情報 (案) >

➤ 改札

位置、有人・無人、形状（幅員、車椅子対応、運営時間、音響案内）等

➤ エレベータ・エスカレータ・動く歩道・その他昇降機

位置、ドアの向き（タイプ）、ドア幅のサイズ、乗員人数、大きさ、運行時間、停止階・行先階、手すり、鏡、音響案内、点字表示、エスカレータの形状（途中フラット箇所の有無）等

➤ トイレ

位置、対応種別（多目的・一般の別、オストメイト、ベビーベッド・チェア）、個数、大きさ、音響案内、点字表示 等

➤ プラットフォーム

形態（島式、相対式）、ベンチ・休憩所位置、ホームドア、可動式ホーム柵 等

➤ その他施設等（位置等）

スロープ、案内所（視覚障害者対応の有無を含む）、券売機（障害者対応型：呼び出しボタン、点字表示）、階段・段差（高さ、段数、音響案内を含む）、出入口（名称、音響案内を含む）、コインロッカー、ナースিংルーム・授乳室、待合所、手荷物預かり所（有人施設）、祈祷室、自由通路（利用可能時間）、ネットワークデータ、移動円滑化経路 等

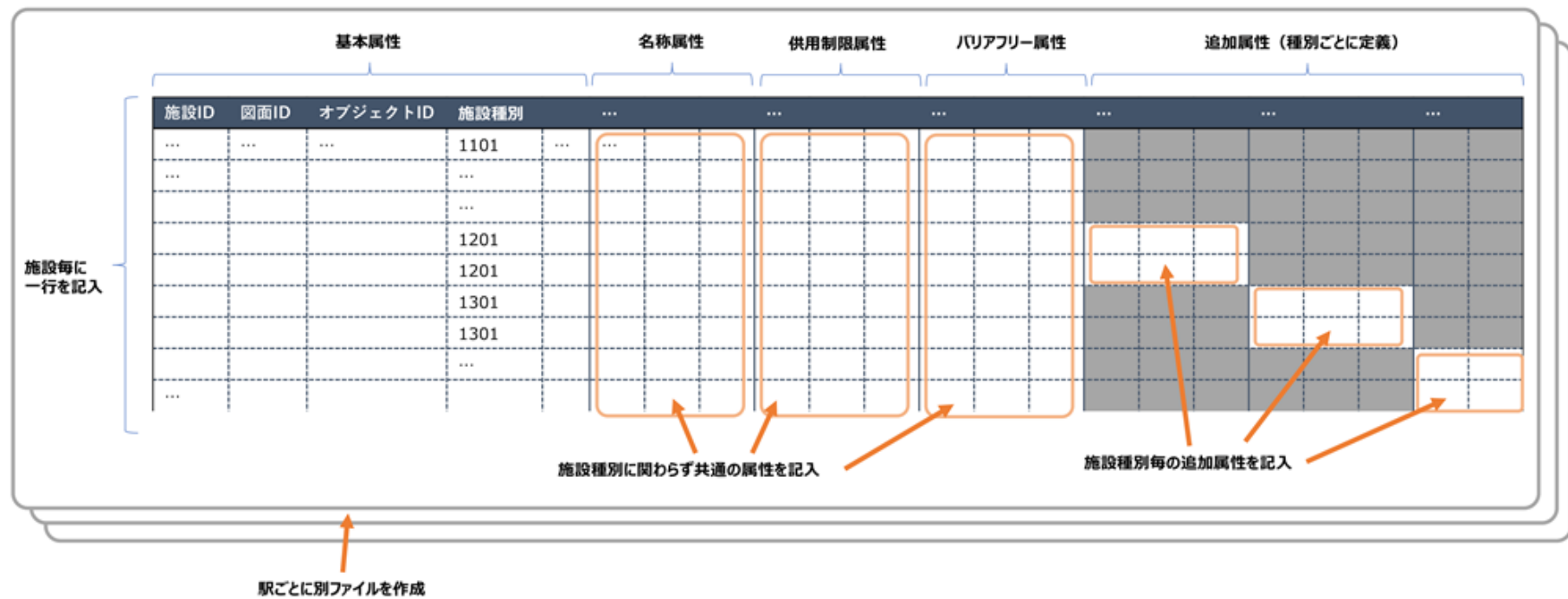
➤ 工事・メンテナンス情報等

工事の予定時期・場所、エレベータ・エスカレータ等のメンテナンスの予定時期・場所 等

施設情報については、「歩行空間ネットワークデータ整備仕様」(国土交通省)を参考にしつつ整理した項目について、仕様を示して公共交通事業者から提供を受け整備。

データ形式は、CSV形式とする。

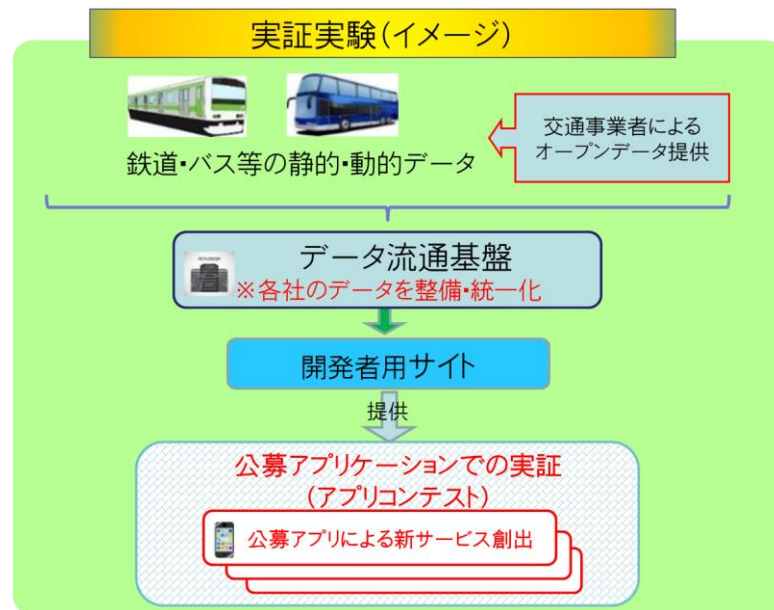
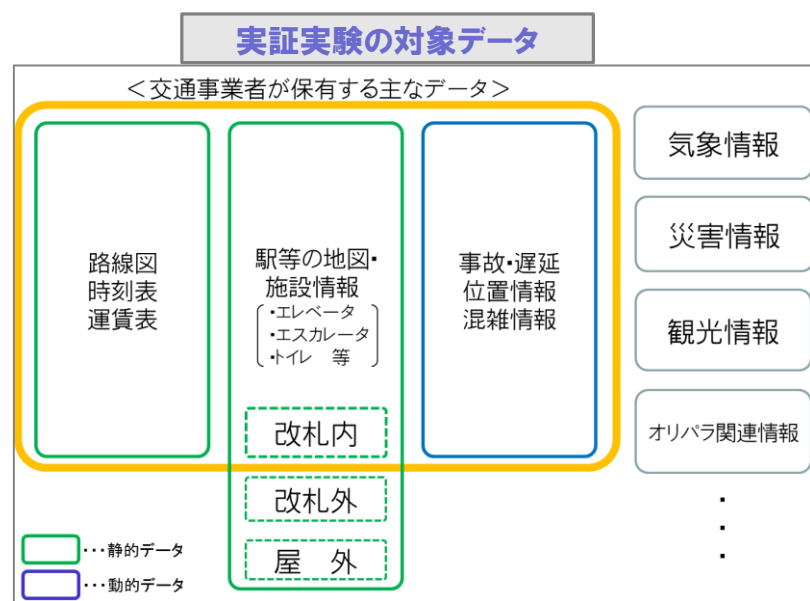
(イメージ)



＜一般公募によるサービス実証＞

公共交通事業者が保有する運行情報等のオープンデータを一元的に集約・整備した上で、他の情報と連携させた**アプリコンテストの実証実験を官民連携して実施**する。

(応募期間：平成30年9月中旬頃 ～ 平成31年1月中旬頃 (予定))



※公共交通オープンデータ協議会の開催する第2回東京公共交通オープンデータチャレンジ(仮称)と連携

＜効果等の検証＞

一般公募によるサービス実証の実施を踏まえ、オープンデータのメリットや費用対効果、データ管理の在り方等について、検証を行う。

(公共交通事業者、応募者等の参加者、公共交通利用者へのヒアリング等を予定)